

ひろさき

編集発行 弘前市市民環境部広報広聴課 No. 114

平成 22 年 11 月 15 日号
(2010)

特集

公共交通を考える 地方鉄道編 P. 2

●市 政／市民生活センターの相談窓口ほか P. 6

●話 題／たか丸くんが行く!!、弘前写真館 P. 10

●お知らせ／催し、教室など P. 12

●健 康／女性特有のがん検診推進事業 P. 19

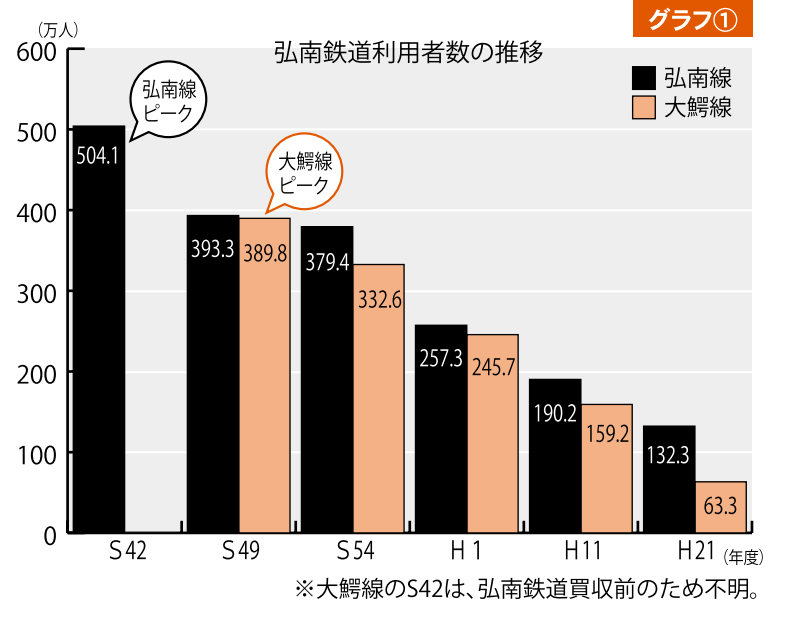
雪処理の手引き

■大人顔負けのばちさばき！

11月3日の文化の日、弘前文化センター（下白銀町）において、「はじけろ！みんなのえがお！」をテーマに、子どもの祭典が開催されました。

舞台発表では、高杉保育園の園児による和太鼓演奏や、日本舞踊、ミュージカルなど子どもたちが日ごろの練習の成果を披露し、会場を沸かせました。





弘南線ピーク
大鰐線ピーク

弘南線
大鰐線

弘南線・大鰐線ともに減少するなかで、特に大鰐線は、10年前と比べて利用者が半分以上になるなど、近年、大きく落ち込んでいます（グラフ①）。市では昨年12月、鉄道の利用実態や満足度・ニーズを把握し、今後の地方鉄道の活用や改善に向けた方向性を探るため、大鰐線の沿線住民を対象にアンケートを実施しました。

利用者の減少→減便や値上げ→利便性の低下→利用者の減少といった負の連鎖から脱却するために、今の状況、今後の課題をアンケートの結果から探っていきます。

弘南線・大鰐線ともに減少するなかで、特に大鰐線は、10年前と比べて利用者が半分以上になるなど、近年、大きく落ち込んでいます（グラフ①）。市では昨年12月、鉄道の利用実態や満足度・ニーズを把握し、今後の地方鉄道の活用や改善に向けた方向性を探るため、大鰐線の沿線住民を対象にアンケートを実施しました。

利用者の減少→減便や値上げ→利便性の低下→利用者の減少といった負の連鎖から脱却するために、今の状況、今後の課題をアンケートの結果から探っていきます。

地域とともに歩んだ公共交通 弘南鉄道

大正15年に産声をあげた弘南鉄道は、昭和2年に弘前〜尾上間を開業し、本格的に鉄道会社としてスタートしました。以前から、当市は多くの学校を有する学都であり、市の周辺から通学する学生の交通手段として、鉄道はなくてはならないものでした。

その後、終戦を境に石炭不足に陥った弘南鉄道は、解決

策として鉄道の電化に着手し、昭和23年、弘前〜尾上間にも本県初となる電車が登場。さらに昭和25年、尾上〜黒石間の新路線が開通したことで、弘前市と黒石市との行き来が格段に便利になったといわれています。

一方、昭和24年に設立された弘前電気鉄道は、3年後の昭和27年に市内2路線目となる私鉄として、弘前市中心部と大鰐町を結ぶ大鰐線を開業しました。しかし、バス路線が競合していたこともあり、経営不振が続いた弘前電気鉄道は、昭和45年、経営権を弘南鉄道に譲渡することになりました。

こうして弘南鉄道は今日に至るまで、弘南線（弘前〜黒石）と大鰐線（中央弘前〜大鰐）の2つの路線の運行を維持し、住民の生活を支えています。それは単に交通手段としてだけでなく、弘前市と周辺市町村を結ぶ動脈として、地域の発展に

貢献してきたといっても決して過言ではありません。しかしその弘南鉄道も、現在は利用者の減少により、大変厳しい状況に置かれています。

年々減少する利用者

弘南鉄道の利用者数は、昭和40年代前半をピークに大きく減少しています。主な要因としては、高度経済成長に伴う自家用車の普及や、少子化が進んできたことによる利用者の減少が挙げられ、時代の流れとともに減少してきたことは言うまでもありません。

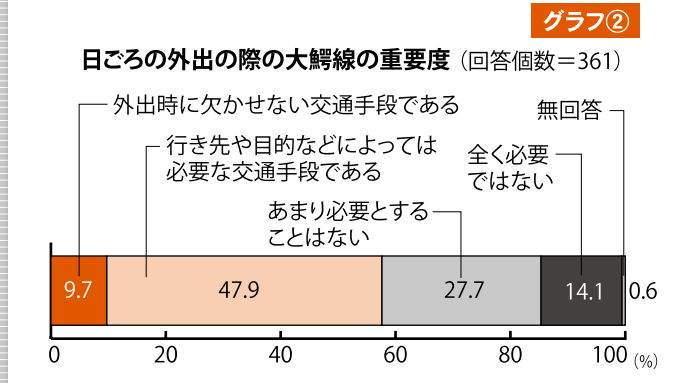
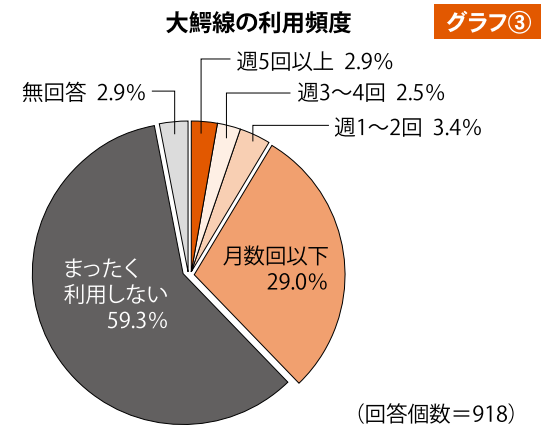
弘南線・大鰐線ともに減少するなかで、特に大鰐線は、10年前と比べて利用者が半分以上になるなど、近年、大きく落ち込んでいます（グラフ①）。市では昨年12月、鉄道の利用実態や満足度・ニーズを把握し、今後の地方鉄道の活用や改善に向けた方向性を探るため、大鰐線の沿線住民を対象にアンケートを実施しました。

利用者の減少→減便や値上げ→利便性の低下→利用者の減少といった負の連鎖から脱却するために、今の状況、今後の課題をアンケートの結果から探っていきます。

沿線住民の利用状況

グラフ②は、日ごとの外出の際の大鰐線の重要度を表しています。注目は、大鰐線が普段の外出時に欠かせない交通手段であると回答した世帯が、約1割しかないなかったという事です。目的などによつては必要と考えている世帯が約5割と最も多いものの、必要としない世帯が約4割と、路線のすぐそばで生活してきた住民でさえ、現在では、その必要性が薄れてきていると言わざるを得ません。

このことは、実際の利用頻度をまとめたグラフ③にも表れており、週に1回でも利用していると答えたのは全体の1割と少数で、反対に約6割もの住民が、まったく利用していないと回答しました。なお、利用しない理由としては、「運行本数が少ない」「利用したい時間に利用できない」といった利便性についてのものや、「運賃が高い」といったサービスに関するものが多くを占める一方、通勤・通学者からは「通勤（通学）先と方面が違う」「徒歩や自転車で行く」といった意見が多く出されました。



地域の宝 みんなの宝

公共交通を考える

地方鉄道編

路線バスや鉄道などの公共交通は、高齢者の買い物や通院、高校生の通学などに利用され、日常生活の大切な交通手段となっています。

しかしながら、自家用車の普及や少子化などによって利用者が減少し、需要の縮小に対応するため路線廃止や減便が行われたことで、公共交通の利便性が低下し、さらに利用者が減少してしまうという悪循環に陥っています。

そのため、公共交通の維持は、年々難しくなっているのが現状です。

そこで今回は、地方鉄道の弘南鉄道を題材に、公共交通の現状や必要性などについて、考えてみましょう。

弘南鉄道の歩み

1998 (平成10) 年	1984 (昭和59) 年	1970 (昭和45) 年	1961 (昭和36) 年	1954 (昭和29) 年	1950 (昭和25) 年	1948 (昭和23) 年	1941 (昭和16) 年	1931 (昭和6) 年	1927 (昭和2) 年	1926 (大正15) 年
黒石線廃止	国鉄黒石線川部〜黒石間を譲り受け、黒石線として開業	弘前電気鉄道が経営権を弘南鉄道に譲渡。大鰐〜中央弘前間を大鰐線とする	全線1500ボルトに昇圧	全線750ボルトに昇圧	津軽尾上〜弘前黒石（現在の黒石）間が開業し全通	全線電化（直流600ボルト）	バス事業に参入	合自動車（弘南バスの前身）に公社	弘前〜津軽尾上間を開業	弘南鉄道を設立

◆資料 弘南鉄道ホームページ

今の生活・将来の生活

現在の利用状況や必要性については3ページで説明した通りですが、一方で、将来の生活を考えた場合の必要性では、約6割の世帯が大鰐線が必要と回答し、必要ないとする世帯は1割程度でした（グラフ④）。しかし、「将来必要である」と答えた人の現在の利用頻度を集計したところ、週1回以上利用している人は、その2割未満でした（グラフ⑤）。

これらの結果から、現在は大鰐線をほとんど利用していないものの、将来的には必要だと考えている住民も多いという実態が明らかとなりました。将来の自分の生活スタイルや環境の変化を考えたとき、「何らかの理由で車を運転できなくなったら…」などといった不安を抱いている人も多いのではないのでしょうか。

「なくなってから後悔」では遅すぎる

人口減少が進む中で、みんなが車だけを利用し、公共交通を全く利用しない状況が続

くと、今後、大鰐線をはじめとする公共交通を維持することは極めて難しくなります。グラフ⑥を見ても分かる通り、自分専用の車や家族共有の車を持っていると答えた世帯は約6割に上ります。市街地の拡大や大型集客施設の郊外化などにあわせ、自動車が増えることは間違いないと見られます。確かに自動車は便利な乗り物で、「なぜわざわざ鉄道を利用しなければならないの

か」と考える人も多いかと思えます。しかし皆さんは「将来も、絶対に鉄道を利用しない」と言い切れるでしょうか。なくなってから、「もっと利用しておけばよかった」と後悔しても遅いのです。当市の冬は積雪量が多く、道幅も狭くなるため、交通渋滞も頻繁に発生します。また、それに合わせて交通事故も多発します。しかし鉄道はその心の心配がほとんどなく、定時に優れた安全で便利な乗り物といえます。

高齢などの理由で車を運転できなくなったとき、代わりとなる交通手段があるということは非常に心強いものではないでしょうか。

大鰐線を将来につなぐために

大鰐線を存続していくためには、みんなで少しずつでも普段から利用することが大事になってきます。

みんなで利用すれば

大きな変化につながります！

沿線住民一人一人が、年間3往復、今より利用を増やせば、利用者は1・4倍に！



現在、大鰐線各駅の周辺（おむね800円圏内）には、約4万人の市民が暮らしています。例えばこの市民一人一人が、年間3往復、今より多く利用するだけで、大鰐線の利用者は現状の約1・4倍にもなります。このような小さいことでも、大鰐線の将来は大きく変わってくるのです。もちろん、周辺の住民だけではなく、市民全員が公共交通の存続に取り組むことが重要であることは言うまでもありません。

きるのではないのでしょうか。公共交通が果たす役割 鉄道は、単に人や物を運ぶ生活交通手段としてだけでなく、観光やまちづくり、環境文化、教育など、さまざまな面で大きな役割を担っている地域の財産です。そのため、地域との関係次第で活気づいたり廃れたりするものです。事業者である弘南鉄道が、サービスの改善などを行い、魅力のある大鰐線を作り上げていくためにはもちろんのことですが、地域住民が「地域の財産である大鰐線を自分たちの手で守り育てていく」と

いう意識を持ち、鉄道との良い関係を築いていくこともまた、大変重要なことです。車と公共交通を上手に使い分けることは、それほど難しいことではありません。まずは半年に1回でも、みんなが公共交通を利用してみましょう。それは必ず地域の財産を未来へつなぐきっかけとなるはずです。

公共交通の利用は、将来の自分や家族への投資であり、将来の地域への投資なのです。

▽問い合わせ先 企画課地域振興担当（☎40・7021） ※弘南鉄道の利用については、弘南鉄道（☎44・3136）へ。

Traincast トレインキャスト 乗務開始!!

市では、地域の大切な交通手段である弘南鉄道大鰐線を市民の足として確保し、将来へつないでいくため、「弘南鉄道大鰐線魅力向上事業」を実施しています。本事業は、利用しやすく親しみのある駅・車両づくりなど、利用環境の向上を通じて大鰐線の魅力を高め、その魅力をPRし利用を促進することによって、同線の活性化とサービス向上を図るものです。

去る10月7日、本事業の一つとして、鉄道利用者に心地よい時間と空間を楽しんでもらうための演出をする、新しいスタイルの乗務員「トレインキャスト」の乗務が開始されました。業務内容は、荷物運びの補助や列車内への誘導、車内・駅舎の清掃や観光PRなどで、大鰐線の魅力を最大限に引き出せるよう、さまざまな企画に取り組んでいきます。

地域と鉄道を結ぶ懸け橋として、皆さんと一緒に大鰐線を盛り上げていきたいと思いますので、トレインキャストが乗務する電車を、ぜひご利用ください。

▽乗務時間 おおむね午前9時～午後3時まで（土・日曜日、祝日は午後4時半まで）

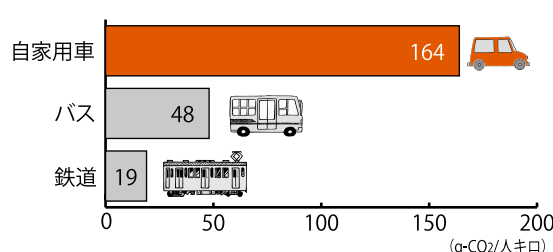
▽弘南鉄道大鰐線魅力向上事業についての問い合わせ先 企画課地域振興担当（☎40・7021） ※大鰐線の利用や、トレインキャストの詳しい乗務内容については、弘南鉄道（☎44・3136）へ。



鉄道の利用で 環境に優しい生活を

鉄道は、1人を1キロメートル運ぶときに排出するCO₂量が、自家用車の9分の1程度と、環境にも優しい乗り物です。たまには気分を変えて鉄道などの公共交通を利用してみませんか。一人一人意識して利用することが、豊かな地球環境を守っていくことへとつながります。

1人を1km運ぶのに排出するCO₂（2008年度）



出典：国土交通省総合政策局ホームページ

市民生活センターの相談窓口

市民生活センターでは、暮らしの中で起こるいろいろな困り事・悩み事や契約トラブルなどに関する相談に、左記の日程で応じています。一人や家族で抱え込まず、まずは相談してみませんか。

■問い合わせ先 市民生活センター（土手町分庁舎内、
☎ 33・5830、34・3179）

市民相談・消費生活相談

- ▽とき 午前8時半～午後4時半（月曜日休館）
- ▽内容 日常生活の困り事・心配事や契約トラブル・多重債務など消費生活に関する事
- ▽相談員 市職員

人権相談

- ▽とき 毎週金曜日、午前10時～午後3時
- ▽内容 いじめや虐待など人権に関する事
- ▽相談員 人権擁護委員

行政相談

- ▽とき 毎週水曜日、午前

土地家屋調査士相談

- ▽とき 毎月第1金曜日、午後1時～4時
- ▽内容 不動産表示登記、土地・建物の調査・測量などに関する事
- ▽相談員 青森県土地家屋調査士会弘前支部会員

不動産相談

- ▽とき 毎月第2・4木曜日、午後1時～4時
- ▽内容 不動産取引・賃貸借トラブルなどに関する事
- ▽相談員 全日本不動産協会

交通事故相談

- 弘前支部会員、青森県宅建物取引業協会弘前支部会員
- ◎次の相談窓口を利用する場合は、事前に予約が必要です。
- ▽予約先 青森県交通事故相談所（☎青森017・734・9235）
- ▽とき 毎月第1・3木曜日
- ▽内容 交通事故に関する事
- ▽相談員 青森県交通事故相談所相談員

法テラス無料法律相談

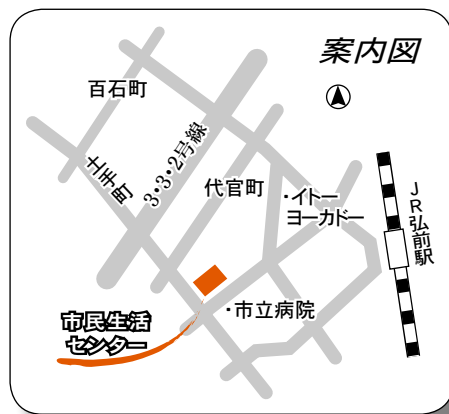
- 法テラス青森が実施している無料法律相談の相談会場として、市民生活センターの場

所を提供しています。

収入や資産が一定の基準以下の人が対象で、事前の予約が必要です。

- ▽予約先 法テラス青森（☎050・3383・5552）
- ▽とき 毎週火曜日、午後1時～4時
- ▽内容 離婚、相続、金銭トラブル、多重債務など
- ▽相談員 登録弁護士・司法書士

困り事・悩み事など ご相談ください



各種相談窓口

総合市民相談

- 専門の相談員が無料で相談に応じます。
- ▽とき 11月27日（土）午前10時～午後3時
- ▽ところ 市民生活センター（土手町分庁舎内）

市民生活センターの相談窓口のほかに、次の日程で各種相談窓口が設置されます。困り事、悩み事があるときは、一人で抱え込まず、早めに相談を。

- 今回から弁護士相談を予約制とします。定員は8人（先着順）で、予約は11月16日から電話で受け付けます。
- なお、弁護士以外の相談員による相談は、事前の予約は不要です。当日直接会場へ。
- ▽問い合わせ・申込先 市民生活センター（☎33・5830、34・3179）

法務局なんでも相談所

- 12月4日～10日は「人権週間」です。
- これにちなみ、「法務局なんでも相談所」を開設します。相談は無料です。秘密は厳守しますので、どうぞご利用ください。

- ▽とき 12月11日（土）午前10時～午後3時
- ▽ところ 青森地方方法務局弘前支局（早稲田3丁目）2階会議室
- ▽内容 登記、戸籍、供託、近隣・家庭内・学校・職場の問題、子どもに関する悩み事など
- ▽相談員 法務局職員、人権擁護委員、司法書士、土地家屋調査士、公証人
- ▽問い合わせ先 青森地方方法務局弘前支局総務課（☎26・1150）
- ※相談においでの際は、弘前駅城東口から城東環状1000円バスを利用し、「城東タウンプラザ前」バス停で降りると便利です。

【人権擁護委員】

人権問題で困っている人の相談に応じます。毎週金曜日の午前10時～午後3時は、市民生活センターでも相談を受け付けています。

■赤平 悦男さん

■阿部 治幸さん

■阿保 香代子さん

■岩崎 和雄さん

■岩澤 つこさん

■小田桐 ミツエさん

■白取 幹人さん

■鈴木 弘さん

■対馬 壽幸さん

■鶴谷 郁子さん

■外崎 由紀子さん

■成田 清美さん

■西澤 テツさん

■吉田 洋子さん

【行政相談委員】

行政への苦情・要望を聞き、解決の手助けをします。毎週水曜日の午前10時～午後3時は、市民生活センターでも相談を受け付けています。

■飛鳥 範子さん

■須藤 タキさん

■田澤 正治さん

■野呂 眞正さん

■三上 トキさん

■村谷 邦男さん

いただいたご意見・ご提案

八戸・黒石・十和田、今回から青森も参加が決定していますが、B級グルメに弘前から『けの汁』など、何か挑戦できるものがあれば良いと思いませんか？市に観光客を呼び寄せ、活気づけるひとつの手段として！

わたしのアイデアポスト

「わたしのアイデアポスト」は、市の広聴事業のひとつとして、市政に関するご提案やご意見を多くの皆さんからお伺いし、市政運営に生かすことを目的に実施しています。

現在、市役所や岩木・相馬総合支所、各出張所などにポストを設置していますので、備え付けてある用紙に提案などを記載して投書してください。また、インターネットやファクス、郵送でも受け付けています。
■わたしのアイデアポストについての問い合わせ先 広報広聴課広聴係（〒036・8551、上白銀町1の1、市役所2階、窓口258、☎35・1194、ファクス35・0080）

市の回答

B級グルメについては、具体的な定義が定められていないものの、「B-1グランプリ」といったB級グルメの祭典や各種メディアにより度々、食の話題として取り上げられており、町おこしの材料としても注目されてきていることから、特定の地域のみで浸透している料理である、いわゆるご当地グルメの一つとして、地域の魅力となる重要な要素であると考えています。

最近、この津軽地域でお総菜や酒のつまみとして愛されてきた「イカメンチ」を、地元に着したご当地グルメとしてブランド化を図り、その魅力を全国に発信しようとする取り組みが動き出しました。この取り組みの実施主体となるグループ「弘前いがめんち食べる会」は、現在、B級グルメとしての方向性も含めて、今後の展開について慎重に検討しながら、情報収集、調査の活動を続けており、市としても、積極的に協力しているところです。

また、B級グルメではありませんが、方言である「津軽弁」を弁当の総称としてブランド化し、津軽のおいしい食を弁当形式で提供し、地域の活性化へつなげていこうとする「駅弁・空弁・津軽弁プロジェクト」の取り組みもあり、平成22年4月21日から販売をスタートし、津軽・弘前の名物となりうる弁当として10事業者19種類が弘前駅自由通路などで販売されています。

ご当地グルメとしては、来春、桜が満開の弘前公園を舞台として津軽伝統の食「津軽そば」が紹介された小説「津軽百年食堂」の映画が公開予定となっており、津軽の食をPRする絶好の機会となると考えています。このほかにも、生産量日本一を誇るりんごのまち弘前のスイーツ「アップルパイ」や、ご当地サイダー、ご当地アイスなど、これまで地元で愛され続けてきた、いわゆるご当地グルメが、当市をはじめとする津軽地域には数多くあることから、市としては、B級という言葉にとらわれず、さまざまな機会をとらえて、津軽の食をPRしながら、弘前の魅力の発信に努めていきたいと考えています。

決定

橋の名称が「アップル大橋」に

県では平成15年度から、石川地区と平川市大坊地区を結ぶ、平川に架かる203歳の橋の整備を進めています。

5月に橋の名称を募集したところ、県内外から117件の応募があり、審査の結果、6人から応募のあった「アップル大橋（あっぷるおおはし）」に決定しました。

「アップル大橋」は、地元がりんごの生産地であることや、アップルロードにつながる橋であることが由来となっており、市民の皆さんに親しみと愛着をもってもらえる名前となっています。たくさんのご応募ありがとうございました。

完成後の「アップル大橋」は、弘前・平川両市を結ぶ広域環状道路として、大切な役割を担っていくものと期待されています。

▽命名者 小田桐富美子さん（大沢）、鈴木登さん（石川）、尾崎克江さん（山崎）、福士哲郎さん（平川市柏木町）、成田瑛飛さん（尾上総合高校）、高杉和宏さん（尾上総合高校）

▽問い合わせ先 市土木課（☎40・7051）／中南部地域県民局地域整備部道路施設課（☎32・0800）

vol. 5

男女

共同参画 をすすめよう

市では、男女共同参画社会推進のために各種事業を実施しており、去る10月2日、「女性の力が地域を守る～輝くあなたになるために～」と題したセミナーを開催し、講演とパネルディスカッションを行いました。

講演ではJ A全国女性組織協議会会長の佐藤あき子さん（弘前市在住）が講師を務め、とかく男性社会といわれる農業の現場で活動できたのは、仲間同士で助け合い、前に進むことでさまざまな困難を乗り越えてきたからだとして述べました。また、これからは女性の感性や知恵を生かして活動することが大切であり、男女共同参画で地域に貢献できるような女性が多く出ること、地域も明るくなることを訴えていました。

講演に続き、佐藤さんをコーディネーターとして行われた葛西市長との意見交換会には、V i c ウーマン・ヒロサキ監事の佐藤芳子さんと、サンフェスタいしかわ友の会会長の永井久美子さんが参加しました。

最初に葛西市長が、主産業である農業振興の施策や、農業女性の意見反映と地位向上に向けた取り組みについて説明したのに対し、佐藤芳子さんが、東京での物産販売で、女性の感性を生かした売り方で完売したことや、東京に弘前の観光案内所や都会の消費者との交流の場になるような「弘前の東京支店」が必要ではないかと提案しました。また、永井さんは、市の産直マルシェ事業などの直売活動に取り組むなかで、友の会会員の高齢化の問題や規格外品の販売先確保の必要性について述べました。これを受けて葛西市長は、「弘前の東京支店」は経費的な問題もあり実現は難しいものの、10月から東京に職員を2人常駐させて、観光面からアプローチをし、今後は物産にも波及させたいことや、産直の都市間交流についての考えを示しました。その後も、会場に集まった参加者からさまざまな意見が出されるなど、議論は大いに盛り上がりしました。

今回のセミナーは、農業を通じた地域おこしの可能性や、農業に関わる女性から見た男女共同参画社会の必要性を考える機会となったのではないのでしょうか。

■担当 市民参画センター（元寺町、☎31・2500）

注意

灯油などの流出事故

例年、燃料タンクの配管の破損やポリタンクなどに小分けにするときの不注意が原因で、灯油などを流出させる事故が多く発生しています。

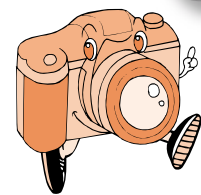
油の流出事故は、河川や農業用排水路を汚染したり、上水道の取水が停止したりするなど事故につながる恐れがあります。また、場合によっては、原因者が多額の費用を負担しなければならぬこともあります。事故を未然に防ぐためにも、次のことを心掛けましょう。

①燃料タンクからポリタンクなどに小分けにするときは、最後までその場を離れない
②燃料タンクの配管を除雪機などで傷つけないために、雪が積もっても配管の位置が分かるように目印を付ける

③燃料タンク内の減り具合が早いときや、燃料タンクの周囲で油のにおいがするときは、油が漏れていないか調べる
④燃料タンクの周りに防油膜を付ける

万が一、油が漏れても、決して中和剤や洗剤などは使わずに、速やかに環境保全課または消防本部にご連絡ください。

▽問い合わせ先 環境保全課（☎40・7035）／消防本部予防課（☎32・5104）



まちの話題を写真で紹介します。

まちの話題

弘前写真館

— 10月22日～11月7日

弘前城 菊と紅葉まつり

10月22日から11月7日までの17日間、弘前公園内の弘前城植物園を主会場に、「弘前城菊と紅葉まつり」が開催されました。三の丸庭園に設けられた菊人形ゾーンでは、NHK大河ドラマで人気の「龍馬伝」の場面が再現され、訪れた人たちの目を楽しませていました。

また、まつり期間中に行われたイベントのうち、10月31日には「ねぶた囃子（ばやし）でギネスに挑戦」と銘打ち、来年の本番に向けたプレイベントが行われました。当日は409人が参加して、見事5分間のねぶた囃子演奏に成功。参加者は来年の4,000人での演奏に向けて、氣勢を上げていました。



▲豪華絢爛（けんらん）な菊人形を眺める市民



▶息の合ったお囃子を披露する参加者

— 11月3日・4日

新幹線開業1カ月前イベント & えきまえ市

東北新幹線新青森駅開業まで1カ月となった11月3日・4日の両日、JR弘前駅で記念イベントが開催されました。イベントでは、駅自由通路でコンサートやこぎん刺しなどの伝統工芸の実演・体験が行われたほか、「藩士のコーヒー」やホットアップルジュースが駅利用者などに振る舞われました。また、3日には開業イベントに合わせ、駅前公園で農産物の直売や「いがめんち」を販売する「えきまえ市」も行われ、悪天候にもかかわらず、お目当ての品を買い求める市民らでにぎわいました。



▲『珈琲の街ひろさき』をPRする「藩士のコーヒー」の振る舞い

◀弘前のご当地グルメ「いがめんち」の販売

たか丸くんが行く!!

弘前城築城400年祭のマスコットキャラクターとしておなじみの「たか丸くん」。積極的にイベントなどに参加して、400年祭のPR活動を行っています。



9/8 青森観光キャンペーン in 羽田空港!

9月8日から10日までの3日間、羽田空港で行われた青森県のPRイベントに参加したたか丸くん。決め手くんやミスりんご青森、ミス桜グランプリと一緒に青森県をPRしました。また、青森県に関するアンケートに答えてくれた人たちにりんごジュースをプレゼントしたり、津軽三味線を演奏したりしながら青森県の魅力を伝えてきました。



9/11 世界遺産トーチランコンサート

9月11日、音楽家・ユネスコ平和芸術家の城之内ミサさんを中心とし、さまざまな国や地域で開催されている「世界遺産トーチランコンサート」が市民会館（下白銀町）で行われました。たか丸くんは、会場に足を運んで、コンサートを盛り上げるとともに、観衆との交流を図りました。



9/12 カルチャアロード

9月12日に土手町で開催されたカルチャアロード。オープニングでは、青女子保育園の和太鼓演奏が披露され、たか丸くんも駆け付けて会場を盛り上げました。また、蓬萊広場のステージでは、花嵐桜組によるよさこい演舞やりんご娘のコンサート、沿道に設けられたテントでは、巨大アップルパイ作りなどが行われ、多くの人でにぎわいました。



9/18 ウラヤスフェスティバル

9月18日・19日の2日間、千葉県浦安市で開催された「ウラヤスフェスティバル」では、JR新浦安駅前の物産コーナーで、りんごジュースや県産品の販売が行われ、多くの人でにぎわいました。祭りでは、弘前ねぶたの運行も行われ、たか丸くんも参加。五所川原立佞武多や、さいたま竜神、大牟田大蛇山などの日本の火祭りの山車と競演しました。





二十歳の祭典

▽とき 平成23年1月9日
(日)、午前11時

▽ところ 市民会館(下白銀町)

▽内容 成人式、実行委員会による成人祭

▽対象 平成2年4月2日～平成3年4月1日に生まれた人

※市内に住所のある対象者には、12月中旬に案内がきを郵送します。また、転出などで市内に住所のない人も参加できますので、当日直接会場へおいでください。

なお、市教育委員会のホームページには昨年の模様が掲載されていますのでご覧ください。

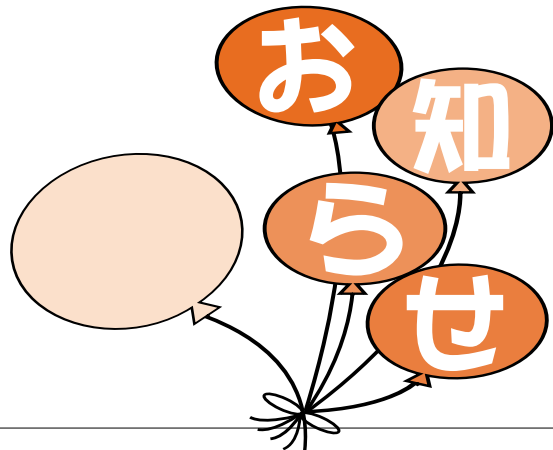
▽問い合わせ先 生涯学習課(岩木庁舎内、☎82・1641)



●弘前市役所 ☎35・1111

●岩木庁舎 ☎82・3111

●相馬庁舎 ☎84・2111



催し



第16回弘前市場まつり

▽とき 11月21日(日)
午前7時45分～11時半

▽ところ 弘前水産地方卸売市場(末広1丁目、弘果総合地方卸売市場内)

▽内容 市民参加の模擬競り大会、カニの大鍋、ジャンボアップルパイ実演即売会、マグロ解体ショー、水産物・野菜・花などの即売会など

▽問い合わせ先 弘前市場まつり実行委員会(☎27・2345)

わげものが作った

新鮮農産物市

弘前地区農村青少年連絡協議会(弘前4日クラブ)では、「第37回消費者とのふれあい市」を開催します。「農家のわげもの(若者)」が心を込めて生産した農産物・加工品の販売やもちつき大会を行いますので足を運んでみませんか。

▽とき 11月23日(火・祝)
午前9時～午後2時

▽ところ 弘前合同庁舎(蔵主町)駐車場

▽内容 りんど(家庭用・贈答用、発送可)・りんごジュース・新米などの即売、クラブ活動パネル展示、もちつき大会(午前10時～と午後1時)の2回。先着順につきたてのもちをプレゼントします。

▽問い合わせ先 中津地域県民局地域農林水産部農業普及振興室(☎34・2136)

雇用政策センター 講座とフォーラム

【第9回雇用政策研究センタービジネス講座】

新たな地域雇用創出の可能性を模索するための講座を開催します。

▽とき 11月24日(水)
午後6時～8時

▽ところ 弘前大学創立50周年記念会館(文京町)岩木ホール

▽内容 「新時代の地域雇用政策」社会的企業と雇用拡大の可能性」：講師・成田春洋さん(抱民舎であいの家あうん施設長)

▽対象 NPOやボランティア活動などの社会的企業に関心のある市民150人

※事前の申し込みは不要。

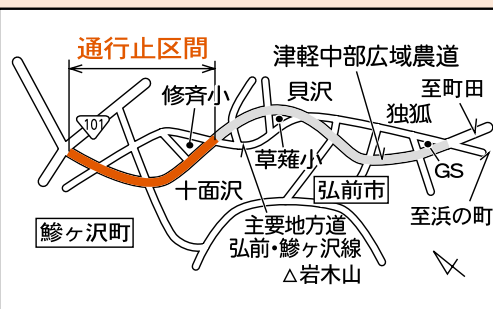
冬期一部通行止め

津軽中部広域農道

津軽中部広域農道(愛称・やまなみロード)の市内十面沢から鰯ヶ沢町までの区間で、雪道の通行の安全確保が困難となるため、12月1日から3月31日まで通行止めになります。

この期間は主要地方道弘前鰯ヶ沢線を利用してください。

▽問い合わせ先 農村整備課(☎82・1637)



〔共通事項〕

▽入場料 無料

▽問い合わせ先 月・水・金曜日の午前10時～午後3時に、弘前大学人文学部附属雇用政策研究センター(☎39・3198、Eメール epcc@cc.hirosaki-u.ac.jp)へ。

平成22年度弘前市 社会福祉大会

弘前市社会福祉協議会では、「ふれあいのまちづくり」をスローガンに、平成22年度弘前市社会福祉大会を開催します。

▽とき 11月26日(金)
午後0時半～

▽ところ 市民会館(下白銀町)大ホール

の提供

※実際にボランティア活動を体験できるコーナーや、クイズラリーなどもあります。

▽入場料 無料

▽交通手段 城東環状100円バス(総合学習センター前下車)を利用できます。

※ボランティア・デー開催の準備や当日の手伝いをしてくれるボランティアスタッフを募集します。主な活動内容は開催当日の案内係や進行補助、出展ブースへのサポートなどです。11月30日までに申し込みを。

▽問い合わせ・申込先 生涯学習課(☎82・1641)

The 津軽三味線2010

津軽三味線の音色が流れる街弘前で「The 津軽三味線2010」を開催します。

津軽三味線300人大合奏をメインに繰り広げられる魅力満載のステージは、民謡や手踊りを織り込み、津軽三味線本来の姿を追求する本場ならではの迫力と感動を体験できるイベントです。

本場のだいいご味を心ゆくまでお楽しみください。

▽とき 12月11日(土)、
夜の部11月22時～夜の部

11月午後5時半～

▽ところ 市民会館(下白銀町)

▽入場料(全席指定) 1000円

▽問い合わせ先 The 津軽三味線実行委員会(弘前商工会議所内、☎33・4111)

ふれあい高齢者新卓球 (ラージボール)親善大会

冬期間の健康保持と参加者の親善を深めることを目的に開催します。

▽とき 12月11日(土)
午前9時半～午後5時

▽ところ 弘前B&G海洋センター(八幡町1丁目)体育館

▽内容 団体戦(抽選で6人1組のチームを編成)／個人戦(フリー抽選による男女別ダブルス)

※詳しくはお問い合わせを。

▽対象 市内在住の60歳以上の入

▽参加料 1人500円

※申し込み時に持参してください。なお、昼食は用意します。

▽問い合わせ・申込先 11月30日までに、弘前ラージボール卓球協会(鎌田さん：☎33・4389、工藤さん：☎88・0702)へ。

水中ウォーキングで健康づくり教室

- ▽とき 12月2日～20日の毎週月・木曜日、午後1時～2時
- ▽ところ 温水プール石川（小金崎字村元）
- ▽内 容 水中ウォーキングの基本から応用、水中ストレッチ、簡単な筋力トレーニング、ゲームなど
- ▽対 象 市民Ⅱ20人
- ▽参加料 無料（各自傷害保険などに加入を）
- ▽申し込み方法 往復はがきに、住所・氏名・生年月日・電話番号・教室名を記入し、11月24日（必着）までに河西体育センター（〒036・8316、石渡1丁目19の1）へ。※はがき1枚で1人までとし、応募多数の場合は抽選で決定します。
- ▽問い合わせ先 河西体育センター（☎38・3200）

ラケットテニス体験会

- ▽とき 11月24日、12月1日・22日の午後7時～9時
- ▽ところ 東小学校（城東中央5丁目）体育館
- ▽内 容 ラケットテニスの基本からゲームまで
- ▽対 象 ラケットテニスを経験してみたい人（子ども可）
- ▽参加料 無料
- ▽持ち物 運動できる服装、室内専用シューズ
- ※用具は貸し出します。
- ▽申し込み 当日直接会場へ
- ▽問い合わせ先 スポネット弘前（☎32・6523）

男女共同参画フォーラム

- 男女共同参画ネットワーク・津軽広域では、『介護は突然やってくる』～介護の男女共同参画を進めよう～をテーマに、フォーラムを開催します。男女共同参画についてのパネル展示やワークシoppのほか、パンの販売や託児所の開設もありますので、ぜひご参加ください。
- ▽とき 12月12日（日）午前10時～午後3時
- ▽ところ 板柳町多目的ホールあぶる（板柳町灰沼字岩井）

世界遺産白神山地子ども自然体験

- 自然の素晴らしさや人と自然とのつながりを学ぶ自然体験プログラムの第3回です。
- ▽とき 12月19日（日）午前9時～午後3時
- ▽ところ 白神山地世界遺産センター西目屋館（西目屋村田代字神田）
- ▽内 容 白神の食文化とクラフト教室
- ▽対 象 小学校3年生～中学生と参加を希望する保護者Ⅱ20人（先着順）
- ▽参加料 小学校3年生～中学生Ⅱ20人（先着順）

▽内 容 ①午前10時半～正午Ⅱ講演「みんなで支え合う介護をめざして」：講師・佐藤恵子さん（青森県立保健大学健康科学部社会福祉学科教授）／②午後1時～2時Ⅱ「平内虹の会」による朗読劇「介護は突然やってくる」～「男女とりかえばや物語」～「イクメンは格好いい」

▽入場料 無料

※事前の申し込みは不要。

▽問い合わせ先 男女共同参画ネットワーク・津軽広域事務局（板柳町教育委員会生涯学習課、木村さん、☎72・1800）

おたっしや健康塾

いつまでも元気で生き生きとした生活を送れるよう、高齢者に適した運動をします。

▽12月の日程および開催場所

○3日：東目屋ふれあいセンター（中野字中豊田）

○10日：藤代公民館（八代町）

○17日：千年公民館（小栗山字川倉）

○24日：石川公民館（石川字石川）

▽時間 午前10時～正午

▽内 容 「元気に動ける体づくり」～スロートレーニングのすすめ～：健康運動指導士による講話と実技／「認知症予防」：保健師によるミニ講話

▽対 象 65歳以上の市民

▽参加料 無料

▽持ち物 運動できる服装、汗ふきタオル、水分補給のための飲み物

北辰学区高杉ふれあいセンターの教室

【アップルバイ教室】りんごの煮方、パイ生地作りから学びます。

▽とき 12月11日（土）午前10時～午後1時ごろ

▽定 員 16人（先着順）

▽材料費 300円（当日持参を）

▽持ち物 エプロン、三角きん、ふきん

【フラワールレンジ教室】フラワールレンジを基本から学びます。

▽とき 12月19日（日）午後1時半～3時ごろ

▽定 員 12人（先着順）

▽材料費 2500円（当日持参を）

▽持ち物 はさみ、持ち帰りの袋

▽共通事項）

▽ところ 北辰学区高杉ふれあいセンター（独狐字山辺）

親子で作ろう手作り絵本

- 岩木文化祭の期間中に開催します。
- ▽とき 11月20日の午後1時～4時と21日の午前9時～午後3時
- ▽ところ 岩木文化センター「あそべーる」（賀田1丁目2階ミニシアター）
- ▽講師 ささやすゆきさん（絵本作家）
- ▽対 象 小学生とその保護者Ⅱ10組（先着順）
- ▽参加料 1組300円
- ▽問い合わせ・申込先 岩木図書館（☎82・1651、ファクス82・5150）

水泳教室

- ▽問い合わせ・申込先 12月3日までに、北辰学区高杉ふれあいセンター（☎95・3601）へ。
- ※月曜日と祝日の翌日は休館日です。
- 【バタフライ】
- ▽とき 12月6日～22日の毎週月・水曜日、午前10時～11時
- ▽ところ 温水プール石川（小金崎字村元）
- ▽内 容 バタフライの基本泳法
- ▽対 象 クロールで25分泳げる市民Ⅱ15人

弘前大学公開講座「リンゴを科学する」

- ▽参加料 無料（各自傷害保険などに加入を）
- ▽申し込み方法 往復はがきに住所・氏名・生年月日・電話番号・教室名を記入し、11月26日（必着）までに温水プール石川（〒036・8123、小金崎字村元125）へ。
- ※はがき1枚で1人までとし、応募多数の場合は抽選で決定します。
- ▽問い合わせ先 温水プール石川（☎49・7081）
- 市と弘前大学の共催で、りんご生産者やりんご産業関係

者、市民を対象に、りんごの生産に関わる基礎知識、最新の情報や研究結果、販売戦略などについての講座を開講します。

▽とき 12月5日の午前9時半～午後4時10分と6日の午前10時～午後4時半

▽ところ 中央公民館岩木館（賀田1丁目）大ホール

▽内 容 ①「リンゴわい化栽培のあれこれ」：講師・福田博之さん（元弘前大学農学生命科学部教授）／②「リンゴ果実の着色生理」／リンゴ果実の着色と異常気象」：講師・荒川修さん（同学部教授）／③「リンゴの主要病害」／星影のもたらした悪二つ、黒星

病と赤星病」：講師・藤田隆さん（同学部助教）／④「リンゴ果実の機械選果や果実品質の非破壊測定について」：講師・張樹槐さん（同学部教授）／⑤「リンゴの減農薬栽培と農薬ドリフトの低減について」：講師・伊藤大雄さん（同学部附属生物共生教育研究センター准教授）／⑥「中国における日本産りんごの消費動向について」：講師・成田拓未さん（同学部特別研究員）

▽受講料 無料

▽問い合わせ・申込先 11月30日までに、りんご課生産振興係（岩木庁舎2階、☎82・1636）へ。

※当日の申し込みも可。

教室・講座



▽問い合わせ・申込先 健康推進課健康支援第一係（野田2丁目、弘前市保健センター内、☎37・3750）

2010 岩木文化祭

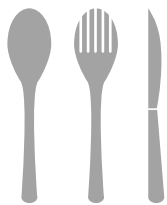
秋の休日、岩木文化の集大成「岩木文化祭」を開催します。「こども芸能発表」や「こども図書館まつり」、「芸能発表」などイベントが盛りだくさん！また、出店や食堂、喫茶コーナー、茶席、ふろしき市（フリーマーケット）などもあります。皆さんのおいでをお待ちしています。

- ▽とき 11月20日（土）・21日（日）
- ▽ところ 岩木文化センター「あそべーる」、中央公民館岩木館、岩木図書館（いずれも賀田1丁目）
- ▽問い合わせ先 岩木文化祭運営委員会（中央公民館岩木館内、☎82・3214、ファクス82・3426）

開催日	イベント	内 容	と き／ところ
19 日	前夜祭 ダンスの夕べ	あそべーるがダンスホールに！あなたも社交ダンスに参加しませんか？	午後7時～9時／あそべーるホール
20 日	開会式	式典、鏡割り、振る舞いもち、津軽中学校吹奏楽部の演奏があります。	午前10時～11時／あそべーるホール
	こども 芸能発表	園児のかわいらしい踊りや、小学生の吹奏楽・演劇など、多彩なプログラムをお楽しみください。	午後1時～4時／あそべーるホール
21 日	芸能発表	日ごろ練習した歌や踊りなど、多彩な芸が次から次へ。	午前9時～午後3時半／あそべーるホール
20 日・ 21 日	ふろしき市	ふろしき1枚分のフリーマーケット。掘り出し物に出会えるかも。	20日＝午前10時半～午後3時、21日＝午前9時～午後3時／あそべーるホワイエ
	作品展示	絵画、書道、写真などの展示や伝統文化の体験コーナー、マジックショーもあります。	20日＝午前10時半～午後3時、21日＝午前9時～午後3時／中央公民館岩木館
	こども 図書館まつり	劇、紙芝居、読み聞かせ、手づくり絵本などの居場所です！	20日＝午後1時～4時、21日＝午後3時～午後3時／岩木文化センター
	出店 コーナー	おでん、フランクフルト、ラーメン、りんご、野菜のほか、喫茶・食堂コーナーもあります。	20日＝午前10時半～午後3時、21日＝午前9時～午後3時／あそべーるこみせ・駐車場
20 日・ 21 日	スタンプ ラリー	館内でスタンプを集めて抽選会に参加しよう。	20日＝午前10時半～午後3時、21日＝午前9時～午後3時／中央公民館岩木館、あそべーる

良い食生活をすすめる グループ講習会

- ▽とき 12月3日(金)
午前10時～午後1時
- ▽ところ 弘前市保健センタ
ー(野田2丁目)
- ▽テーマ 「乳製品を使って」
- ▽献立 トマトチーズうどん、
千草卵焼き、きのこ昆
布の炒め煮、りんごパフェ
- ▽定員 30人
- ▽受講料 無料
- ▽持ち物 エプロン、三角き
ん、はし
- ▽問い合わせ・申込先 11月
16日から電話で、弘前市保健
センター(☎37・3750)へ。



ベテランズセミナー

- ▽とき 12月16日(木)
午前10時～正午
- ▽ところ 弘前文化センター
(下白銀町) 2階大会議室
- ▽内容 コーラス指導「み
んなで歌いましょう」講師・
三浦リツさん
- ▽対象 市内在住の60歳以
上の人
- ▽受講料 無料
- ▽問い合わせ・申込先 電話
で、中央公民館(☎33・65
61)へ。
- ※火曜日は休館日です。

若年者コミュニケーション 実践セミナー

- 社会人として人間関係を円
滑にし、コミュニケーション
能力を高めるセミナーです。
就職活動にも役立ちますの
で、ぜひご参加ください。
- ▽とき 11月27日(土)
午前10時～午後4時半
- ▽ところ 総合学習センター
(末広4丁目) 4階第4・第
5研修室
- ▽内容 コミュニケーショ
ンの基礎知識の習得および実
践型ワーク
- ▽講師 日本産業カウンセ

その他

- ラー協会東北支部産業カウ
ンセラー
- ▽対象 コミュニケーショ
ン力を高めたい40歳未満の若
年者16人程度(先着順)
- ※当日の参加も可能ですが、
定員に達した場合は参加でき
ませんので、事前の申し込み
をお勧めします。
- ▽参加料 無料
- ▽問い合わせ先・申込先 ジ
ョブカフェあおもり(青森
市安方1丁目、アスパム3
階、☎青森017・731・1311、
ファクス017・731・1312、
ホームページ [http://www.
jobcafe-aomori.jp](http://www.jobcafe-aomori.jp))

とっておきの

津軽大賞コンテスト

- 津軽広域連合では、わたし
たちの住む「ふるさと津軽」
の素晴らしさについて相互に
理解を深め、人々に伝えてい
くことを目的として、「とっ
ておきの津軽大賞コンテス
ト」を開催します。皆さんか
らのたくさんのご応募をお待
ちしています。
- ▽部門 ①写真 ②川柳

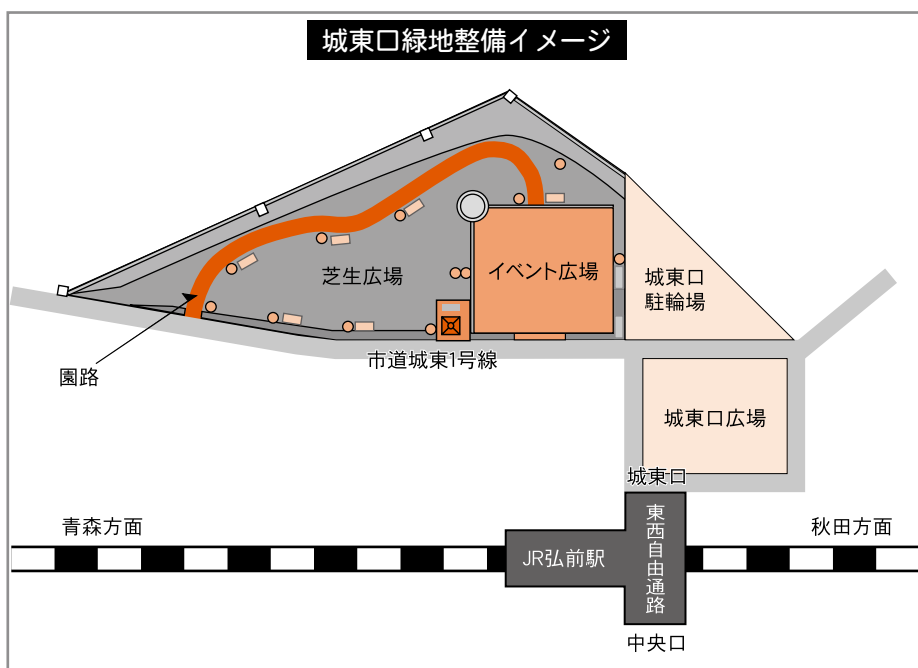
弘前駅城東口緑地を整備しています

市では現在、弘前駅城東口緑地の
整備を進めています。

この緑地は、JR弘前駅に近接し
ている特性を生かし、多くの人が生
涯スポーツやフリーマーケット、各
種行事など多目的に利用できるほ
か、災害時には避難地としても活用
できるよう、防災機能を備えた緑地
として整備することとしています。

緑地は平成23年4月に供用開始
の予定ですが、芝の生育状況によっ
ては時期が遅れる場合がありますの
で、決まり次第、あらためてお知ら
せします。

整備中は皆さんにご不便をおかけ
しますが、ご理解をお願いします。
▽問い合わせ先 都市計画課管理・
事業係(☎35・1134)



弘前大学公開講座

- フリースソフト(無料で配布
されているソフトウェア)G
IMPを使用して、デジタル
カメラで撮影した写真の編集
技術を学びます。
- ▽とき 12月11日(土)
午後1時半～4時
- ▽ところ 弘前大学総合情報
処理センター(文京町)
- ▽対象 小学校高学年以上
20人(先着順)
- ※事前の申し込みが必要。
- ▽参加料 無料
- ▽問い合わせ・申込先 電話
またはEメール(住所・氏
名・電話番号を記入)で、弘
前大学総合情報処理センター
(☎39・3721、Eメール
koukai-kouza@cc.hirosaki-u.
ac.jp)へ。

- ▽テーマ 「ふるさと再発見」
※地域の自然、祭り、伝統
史跡、風習、日常の風景など、
皆さんが人々に伝えたい「ふ
るさと・津軽」の姿を作品に
して応募してください。
- ▽応募資格 津軽広域連合構
成市町村(弘前市、黒石市、
平川市、藤崎町、板柳町、大
鰐町、田舎館村、西目屋村)
に在住の人
- ※年齢・経験などは問いませ
ん。
- ▽応募条件
- 【各部門共通】
- 応募作品は、構成市町村に
ちなんだものに限ります。
- ①写真 構成市町村内で撮影
された作品
- ②川柳 構成市町村それぞれ
の特色や風習などを交えた句
●作品は未発表のものに限り
ます。また、ほかのコンテス
トなどの二重投稿はご遠慮
ください。
- 応募作品の使用権は津軽広
域連合に帰属することとしま
す。
- 応募作品は返却しません。
- 応募者の個人情報について
は、当コンテスト以外では使
用しません。
- 【写真部門】
- 応募作品のサイズは次のと
おり(組み写真は不可)

- フィルム 2カラープリント、
L版サイズ(ワイド四つ切り
サイズ)
- デジタル 2フィルムと同サイ
ズ(ただし、プリンターから
出力する場合はA4サイズ
可)
- 画像を合成・加工した作品
は失格とします。
- 肖像権など、第三者の権利
を侵害しないよう十分配慮し
てください。
- 作品入賞の際は、フィルム
写真はネガ(またはポジ)、
デジタル写真は画像データを
提出してください。
- ▽応募点数 ①、②とも1人
につき3作品まで
- ▽申し込み方法
- ①写真 作品タイトル・撮影
場所・撮影日と応募者の住所・
氏名(ふりがな)・年齢・電
話番号を記入した用紙を作品
の裏面に貼付して、郵送して
ください。
- ②川柳 はがきに応募作品
と、住所・氏名(ふりがな)・
年齢・電話番号を記入して郵
送してください。
- ▽応募締切 平成23年1月14
日(金)
- ※当日消印有効。
- ▽賞(部門ごとに選出)
- 最優秀賞 各1点(賞状、商
品券3万円)

- 優秀賞 各2点(賞状、商品
券2万円)
- 入選 各8点(賞状、商品券
1万円)
- ※受賞者には、副賞として市
町村特産品詰め合わせセット
を差し上げます。
- ▽審査方法 各部門の専門家
を含む審査委員で審査しま
す。
- ▽作品発表など
- 受賞者には、平成23年2月
上旬に通知する予定です。
- 受賞作品は、津軽広域連合
ホームページおよび平成23年
3月発行の津軽広域連合広報
紙で発表します。
- 受賞作品は、今後津軽広域
連合で作成する各種印刷物な
どに使用することがあります。
- ▽作品展示について 昨年度
入賞作品22点(写真11点・川
柳11点)を、11月16日～25日
の午前8時半～午後5時15分
に、市役所(上白銀町)2階
ロビーにて展示します。
- 問い合わせ・応募先 津軽
広域連合「とっておきの津
軽大賞コンテスト」係(☎
036・8276、弘前市大字樋
の口町260の4、☎39・7
200、ホームページ [http://
www.net.pref.aomori.jp/
tugarkoiki/](http://www.net.pref.aomori.jp/tugarkoiki/))

女性特有のがん検診推進事業 子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン券

市では、がんの早期発見と正しい健康意識の普及および啓発を図り、健康保持・増進を図ることを目的として、国の方針に基づき、「女性特有のがん検診推進事業」を実施します。対象となるのは下記に該当する人です。

対象年齢に該当する人で、平成22年4月20日現在、弘前市に住民登録のある人には、7月1日にクーポン券および検診手帳を発送しました。クーポン券の有効期限は平成22年12月31日です。有効期限が近づくと、検診の予約が取りにくくなる場合がありますので、早めにご利用ください。

既に市の子宮・乳がん検診を受診し、自己負担金

を支払った人については、自己負担金を助成しますのでお問い合わせください（事業所検診、保険診療などは除く）。

また、4月21日以降に弘前市に転入した対象年齢の人は、前住所地の市町村よりクーポン券が発行されます。既に前住所地の市町村よりクーポン券が送付されている人は、弘前市のクーポン券との交換が必要です。お問い合わせください。

▽問い合わせ先・申込先 午前8時半～午後5時15分に、健康推進課（野田2丁目、弘前市保健センター内、☎37・3750）へ。

※土・日曜日、祝日を除く。

子宮頸がん

対象年齢 (平成22年4月1日現在)	本年度年齢	生年月日
20歳	21歳	平成元年(1989)4月2日～平成2年(1990)4月1日生まれの人
25歳	26歳	昭和59年(1984)4月2日～昭和60年(1985)4月1日生まれの人
30歳	31歳	昭和54年(1979)4月2日～昭和55年(1980)4月1日生まれの人
35歳	36歳	昭和49年(1974)4月2日～昭和50年(1975)4月1日生まれの人
40歳	41歳	昭和44年(1969)4月2日～昭和45年(1970)4月1日生まれの人

乳がん

対象年齢 (平成22年4月1日現在)	本年度年齢	生年月日
40歳	41歳	昭和44年(1969)4月2日～昭和45年(1970)4月1日生まれの人
45歳	46歳	昭和39年(1964)4月2日～昭和40年(1965)4月1日生まれの人
50歳	51歳	昭和34年(1959)4月2日～昭和35年(1960)4月1日生まれの人
55歳	56歳	昭和29年(1954)4月2日～昭和30年(1955)4月1日生まれの人
60歳	61歳	昭和24年(1949)4月2日～昭和25年(1950)4月1日生まれの人

健康相談

「生活習慣病の予防」「禁煙したい」「健診受診後の生活について」など、健康や栄養に関して保健師や栄養士が無料で相談に応じています。相談は予約が必要です。希望する人は事前に電話で申し込んでください。

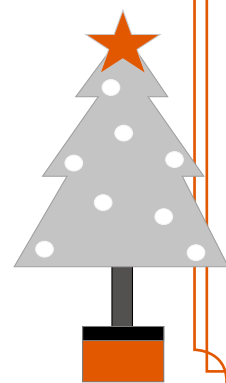
▽12月の相談日 7日(火)の午前9時～午後2時
▽ところ 弘前市保健センター（野田2丁目）
▽予約受付時間 午前8時半～午後5時（土・日曜日、祝日を除く）
▽問い合わせ・予約先 健康推進課（弘前市保健センター内、☎37・3750）

女性特有のがん検診推進事業の対象者に、がん検診を実施します。受診を希望する人は、電話で弘前市保健センターへ申し込んでください。
ただし、定員（受診場所により異なります）になり次第締め切ります。
※妊娠中の人、乳がん検診については授乳中および断乳直後の人、胸に傷がある人、ペイズメーカーなどの医療器具を装着している人はご遠慮ください。

【乳がん検診】
○検診車による集団検診
▽とき 12月12日・14日
▽受付 12月12日午前9時～
▽と き 12月20日(月)
▽受付 午後1時～2時
○医師会健診センターでの受診
▽と き 12月20日～22日
▽受付 20日午前8時～9時、21日午前8時～9時、22日午前8時～9時
【子宮がん検診】
▽と き 12月20日(月)
▽受付 午後1時～2時
○受診場所 医師会健診センター（野田2丁目）
▽問い合わせ先・申込先 午前8時半～午後5時15分に、健康推進課（野田2丁目、弘前市保健センター内、☎37・3750）へ。
※土・日曜日、祝日を除く。

女性特有のがん検診推進事業対象者の検診実施

お知らせ



ひとり親家庭のためのクリスマス会

弘前市母子寡婦福祉会では、母子家庭・父子家庭の親子を対象に、クリスマス会を開催します。親子で楽しい時間を過ごしてみませんか。

▽と き 12月12日(日) 午後1時半～3時半

▽ところ 旧弘前借行社（御幸町、弘前厚生学院内）

▽内容 読み聞かせ、ビンゴゲーム、ミニ音楽会など

▽対象 母子家庭・父子家庭の親子 30組

▽参加料 1組500円（おやつ・飲み物代として）

▽問い合わせ・申込先 12月6日までに、電話、またはEメールで弘前市母子寡婦福祉会（引間さん、☎携帯080・1808・7970、Eメール hiro.bosikai@gmail.com）へ。

労働相談会

青森県労働委員会では、個々の労働者と事業主との間に生じた労働条件などのトラブルを解決するため、無料の相談会を開催します。

▽と き 12月7日(火) 午後1時～3時半

▽ところ 青森県労働委員会（青森市新町2丁目、県庁北棟8階）

▽対象 県内の労働者および事業主

※事前の電話予約が必要。

▽問い合わせ・予約先 青森県労働委員会事務局（☎青森017・734・9832）

指名手配被疑者の検挙にご協力を

平成22年9月現在、全国の警察から指名手配されている人は、警察庁指定特別手配被疑者として地下鉄サリン事件などで特別手配されているオウム真理教関係被疑者3人を始めとして、約1200人に上っています。

これらの被疑者は、殺人・強盗などの凶悪事件や暴行・傷害などの粗暴事件、窃盗事件、詐欺・横領などの知能犯

「オウム真理教犯罪被害者救済法」を存じますか？

オウム真理教による無差別大量の殺傷行為で被害を受けた不特定多数の人々に対し、国が給付金を支給して救済を図るため、「オウム真理教犯罪被害者等救済法」が、平成20年12月18日に施行されました。給付金の申請期限が迫っていますので、対象となる人は

事件などで手配されており、再び犯行を起こす恐れがあることから、早期に検挙しなければなりません。

警察では、特に重大な犯罪の被疑者を選定し、11月中旬に全国警察の総力を挙げて追跡捜査を行い、早期検挙に取り組んでいます。

指名手配被疑者の発見に向けた各種捜査活動には、市民の皆さんの協力がぜひとも必要です。指名手配被疑者によく似ている人を見かけたというような情報など、どんなささいなことでも結構ですので、警察に通報してください。

▽問い合わせ先 弘前警察署（☎32・0111）

早めに申請をしてください。

▽対象 次の8事件により障がいおよび傷病を負った人、または亡くなった人の遺族

○弁護士およびその妻子の殺人事件（平成元年11月4日発生）

○サリンを使用した弁護士殺人未遂事件（平成6年5月9日発生）

○松本サリン事件（平成6年6月27日～28日発生）

○VXを使用した殺人未遂事件（平成6年12月2日発生）

○VXを使用した殺人事件（平成6年12月12日発生）

○VXを使用した殺人未遂事件（平成7年1月4日発生）

○公証人役場事務長の逮捕監禁致死事件（平成7年2月28日～3月1日発生）

○地下鉄サリン事件（平成7年3月20日発生）

▽支給額の決定 1日以上通院した人から亡くなった人まで、被害に応じて支給を決定

▽申請期限 12月17日(金)

※申請方法など詳しくはお問い合わせください。

▽問い合わせ先 弘前警察署総務課（☎32・0111）／青森県警察本部警務部教養課犯罪被害者支援室（☎青森017・723・4211）

有料広告

有料広告

「津軽に眠る 名宝展」

江戸時代を通じ津軽氏の城下町として栄え、津軽地方の政治・経済・文化の中心である弘前には、さまざまな文化財が残されています。

展覧会では弘前藩や津軽家由来のものを中心に江戸時代の絵画資料を展示紹介します。屏風のような大画面絵画を当時の人たちがどのように楽しんでいたのかを心ゆくまで堪能ください。

尾形光琳の「紅白梅図屏風」が津軽家旧蔵品だったことをご存じでしょうか。このたび、MOA美術館よりレプリカが特別出品されます。近世屏風の名品も併せてお楽しみください。

▽開催期間 11月27日～平成23年1月30日

▽観覧時間 午前9時半～午後4時半

▽観覧料 一般 280円 (210円) / 高校・大学生 140円 (100円) / 小・中学生 80円 (40円)

※(一)内は20人以上の団体料金。65歳以上の市民、市内



鶴川常雲 唐獅子図屏風 (個人蔵)

の小・中学生や障がい者、外国人留学生は無料。年齢や住所を証明できるものを提示してください。

▽休館日 毎週月曜日

※年末年始の12月29日～平成23年1月3日と1月10日は開館し、1月11日は休館します。

【ギャラリートーク】

▽とき 11月27日(土) 午後2時

▽ところ 市立博物館展示室

▽講師 須藤弘敏さん(弘前大学人文学部教授)

▽入場料 無料(観覧料は必要です)

【併催「津軽の刀工展」】

弘前藩お抱えの刀工らが鍛えた郷土刀にスポットを当てて展示します。武士の魂と称される鉄の最高芸術品「日本刀」の魅力をご覧ください。

■問い合わせ先 市立博物館 (下白銀町、☎35・0700)

たか丸くん お誕生日会

～11月27日生まれの
みんな集まれ～



弘前こどもコミュニティ・ぴーぷるの協力で、弘前城築城400年祭マスケットキャラクタータカ丸くんのお誕生日会を開催します。参加は自由で、11月27日生まれの小学校6年生までの人には、たか丸くんからプレゼントがあります。また、誕生日会の前に、たか丸くんのお面制作体験のワークショップも開催しますので、皆さんぜひおいでください。

▽とき 11月27日(土) 午前11時

※お面制作体験のワークショップは午前10時半～。

▽ところ まちなか情報センタ―(土手町)

▽参加料 無料

▽参加方法 来場・ワークショップ参加のみの人は事前の申し込みは不要。ただし、プレゼント準備のため、11月27日生まれの小学校6年生までの人は、事前の申し込みが必要です。次の必要事項を記入し、11月22日(必着)までに、ファクス、またはEメールで、弘前城築城400年祭実行委員会事務局(ファクス35・3765、Eメール sinc400@city.hirosaki.jp)へ申し込みを。

①件名: 【お誕生日会参加希望(11・27生まれ)】 / ②住所 / ③氏名(ふりがな) / ④生年月日 / ⑤性別 / ⑥学校名・学年 / ⑦電話番号

※申し込みは保護者が行ってください。

▽問い合わせ先 弘前城築城400年祭実行委員会事務局(市役所5階、弘前城築城400年祭推進室内、☎40・7017)



申し込みメールアドレス
QRコード

有料広告

有料広告

Population

人の動き



・人口 (前月比)
182,205 人 (- 10)
男 82,956 人 (- 14)
女 99,249 人 (+ 4)

・世帯数
71,369 世帯 (+ 67)
平成22年10月1日現在(推計)